

令和 6 年度 第 2 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録
(令和 5 年度市民協働型まちづくり事業補助金 事業報告会)

日 時 : 令和 6 年 5 月 24 日(金)

13:30 ~ 16:30

場 所 : 市役所 東館 2 階 202-203 会議室

1 出席者

〔御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員〕※敬称略

花山 勝重、高橋 良子オザナ、勝又 孝文、勝亦 功、刈山 祐江、川村 美穂、立道 佳之、高瀬
宏樹、芹澤 直己、尾身 亜矢子、小寺 智之、大田 雄紀 計 12 名

〔御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー〕※敬称略

牛山 久仁彦 (明治大学 政治経済学部教授)

〔事務局(市民協働課)〕

高村課長、三改木統括、梶副主任

2 令和 5 年度市民協働型まちづくり事業補助金 事業報告会 [13:30~14:40]

〔内容〕

令和 5 年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の実績報告のため、各団体・担当課のプレゼンテーション、質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員 12 名を評価者として、前年度に実施された市民提案事業 3 事業(新規 1 事業、継続 2 事業)の評価を行った。

【市民提案事業】

(1) 事業名: おもちゃ病院事業 [1 年目]

団体名: 御殿場おもちゃ病院

担当課: 社会教育課

〔質疑応答〕

(委員) 団体側の自己評価シートの評価が低い、こういった理由がありますか。

(団体) 団体の事業の発信部分で課題があり、まだまだ知られていない、知ってもらうのは大変なことだと感じています。今後の発信はアドバイスをいただきながら、しっかりやっていきたいと思っています。

(担当課) 担当課としては、令和5年度は活動の基盤づくりという観点で評価をいたしました。

その中で、多くの方に事業に来ていただいたり、感謝のお手紙をいただいたり、市としては高く評価をしている事業で、継続して実施していただきたい事業になります。

(委員) おもちゃドクター養成講座は、資料を見ると参加者が6名と記載されているが、こちらは想定よりも多かったか、少なかったか、どちらになるか。今後こういった PR を想定しているか。事業に関わっているスタッフがどれくらいいるか教えてください。

(団体) おもちゃドクター養成講座は、募集を10名で行っていたので、想定よりも少なかったです。

人数としては少なかったが、やる気のある人たちばかりで質としては良かったと思う。

今回は、SNSや一部書面で広報を行ったが、今後はさらに紙媒体など各方面で広報を行っていきたいです。

事業に関わっているスタッフは、全部で16名です。毎月の事業には、10名ぐらいのスタッフが参加しています。

- (2) 事業名: はぐっと ～みんなで子育て～ [3年目]
団体名: 子育て支援有償ボランティア団体 はぐっと
担当課: 子ども家庭センター(子育て支援課)

〔質疑応答〕

(委員) 事業ありがとうございました。年々活動が活発になっており、素晴らしいと思いました。

自己評価シートの中で、保育士さんに来てもらえなかったというのは、どういったことかなと思いました。

(団体) 令和4年度の事業を踏まえて、どうしたら子ども家庭センターとのやり取りがスムーズにいくかなどを考えて、令和5年度の事業実施前に担当課とお話をしました。

その際に、子ども家庭センター内の保育士さんを一人、1年間事業につけますと言われましたが、一度も来なくて、連携も出来なかった。

(委員) 次年度以降、事業を自立して行っていく中で、収入はどうしていくか。

(団体) 収入は、すごく難しい課題です。

現在、事業の拠点に出来そうなところがあるので、今まで会場を借りながら行っていた事業を、拠点を中心に出来ればと思います。

(委員) 収支決算書の中で、保険料はどういった内容か詳しく教えてほしい。

(団体) 保険料は、審査会時に50,000円で承認されました。これは、過去2年間も入っていた保険になります。それ以外で、審査会以降保険屋さんからイベントを運営する側の保険を入った方が良いのではないかとアドバイスがありました。例えば物を壊してしまったり、運営側が怪我をしまったりなど、これらは、当初入っていた保険では適用されないものでした。参加者も運営側も安心して事業を行えるように、追加で保険に入ったため、料金も上がっています。また補足で、イベントに参加してくださる方が増え、参加者の年齢層も幅広くなった。全ての年齢層が安心して事業に参加できるように、保険に新に入りました。

(委員) 子ども家庭センター(子育て支援課)との協働事業かと思いますが、センター内で事業をやらなかった理由はありますか

(団体) センター内だと、団体はベビーシッターとして活動しており、センターは、ファミリーサポートを行っており、保育士さんもいらっしゃったことから、実施はしなかった。

(担当課) センターとしては、1団体が特別にセンターを使用するということはやっていないため、会場を提供することが出来なかった。

(委員) 令和4年度の報告の際にも、保育士さんに見てほしいという要望があり、それを受けますという形になっていたと思うが、会場がセンター内ではなかったため、行けなかったのかなとか、センター内ではなくてもふじざくらで行えれば、保育士さんも見にこれたのではないかと思います。

今回で団体の市民協働型まちづくり事業は終わりになりますが、今後はどのように子ども家

庭センター、子育て支援課と協働していくというのは、決まっているのか。

- (団体) 現在、子育て支援課や都市整備課などとお話をしている中で、子ども家庭センターとも継続して協働が出来ればというお話もあり、模索している途中です。

(3) 事業名: 令和の世によみがえる御殿場馬車鉄道復元プロジェクト [3年目]

団体名: 御殿場馬車鉄道研究会

担当課: 社会教育課

〔質疑応答〕

- (委員) 3年間事業お疲れ様でした。しおりを作成したかと思いますが、今後どこに配架をしたり、活用していく予定ですか。

(団体) しおりは、今後馬車鉄道を展示する機会があるので、そういったところで活用していく。また、印刷できる部数も限られているため、幅広く配架していくということは今のところ考えていない。

- (委員) 今後新しくできる図書館に配架することは考えているか。

(団体) 団体としては、ぜひ配架したいと考えています。公共施設になるため、市の方ともご相談になると思います。

- (委員) まだ興味がない人にも知っていただく機会が今後つくっていければと思います。

(委員) 団体の会員の方が、私の地元の文化祭でしおりの内容を発表されていきました。地元の方も知らない内容が多く、関心をもって見てられたので、知っていただくことが重要なのかなと思いました。また、3年間事業を行う中で新しい情報は出てきましたか。

(団体) 新しい情報は、しおりの中にも反映しています。会員の方が、人物関係の情報を掘り下げてくださいました。しおりは、作成した時から情報が古くなってしまうため、理想としては、しおりにHPの情報を載せていますので、HPの情報を更新していきたいと思っています。

会員の方も、仕事をされているので、更新については課題かなと思っています。

また、各地区からお声かけいただいて馬車鉄道のパネルを展示させていただく機会がありました。団体としても、車両を作成したので、どんどん展示していきたいと思っており、展示のお声かけもいただいているが、車両を動かすのに経費がかかってしまうため、上手く折り合いがつかない時があった。皆さんからもご意見等いただければと思います。

- (委員) 収支決算書の中で、委託料があるが、しおりのデザイン料などの経費か。

(団体) 団体だけで、しおり制作が難しかったので、業者に委託してデザインなどをしていただきました。作成するにあたっての資料は団体から提出しました。

- (委員) 今後、しおりはアップデートして直していけるのか、また新たに作成していくのか、どのようになっていますか。

(団体) 今回作成したしおりのアップデートは考えていません。HPやSNS等で最新の情報を発信していきたい。

3 第 2 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会〔15:00 ～16:30〕

〔内容〕

事業報告会でのプレゼンテーション及び質疑応答の状況、報告書の内容、採点結果、委員からのコメント等を踏まえ、各事業の実施内容及び実績について協議を行った。